

# 全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成30年6月1日（金）  
開催時間：10時05分～12時23分  
開催場所：全 員 協 議 会 室

## 〔議員〕

川神議長、田畑副議長  
三浦議員、沖田議員、西川議員、村武議員、川上議員、柳楽議員、串崎議員  
小川議員、野藤議員、上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員  
芦谷議員、永見議員、佐々木議員、道下議員、西田議員、澁谷議員  
西村議員、牛尾議員

## 〔執行部〕

市 長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長  
教育長、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長  
産業経済部長、産業経済部参事、都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長  
三隅支所長、教育部長、消防長、上下水道部長、(広域行政組合事務局長)

## 〔事務局〕 局長、次長、議事係長

---

【全国市議会議長会・中国市議会議長会 表彰の伝達】（10：00～10：05）

## 議 題

### 1 執行部報告事項

- |                                  |         |
|----------------------------------|---------|
| (1) 病児・病後児保育事業について               | (健康福祉部) |
| (2) しまねお魚センターの買取申出に対する検討について     | (産業経済部) |
| (3) ふるさと体験村の運営状況（直営）について         | (弥栄支所)  |
| (4) 浜田市ふるさと体験村施設経営検証委員会の中間報告について | ( 同 )   |
| (5) ふるさと体験村の浴槽からのレジオネラ属菌検出について   | ( 同 )   |
| (6) 防災行政無線放送の不手際について             | (消防本部)  |
| (7) その他                          |         |
| ・(仮称)新浜田ウインドファーム発電計画について         |         |
- (配布物)
- |                                   |         |
|-----------------------------------|---------|
| ・平成30年度総合防災訓練について                 | (総務部)   |
| ・平成29年度空き家バンク制度の利用状況について          | (地域政策部) |
| ・浜田市地域協議会委員の選任について                | ( 同 )   |
| ・島根県立大学等の入学状況について                 | ( 同 )   |
| ・敬老乗車券交付事業及び運転免許自主返納支援事業の申請状況について | ( 同 )   |
| ・浜田市生活路線バス等の利用実績について              | ( 同 )   |
| ・「2020年代の県立高校の将来像について」の提言について     | ( 同 )   |
| ・平成30年度軽自動車税の当初賦課状況等について          | (財務部)   |
| ・平成30年度固定資産税の当初賦課状況等について          | ( 同 )   |

- ・「浜田市障がいのある人もない人も共に生きることができるまちづくり条例」  
制定記念講演会について (健康福祉部)
- ・島根大学医学部医学科『地域枠』及び市内看護学校卒業生・入学生の状況について (同)
- ・高齢者人口等の推移について (同)
- ・介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況等について (同)
- ・浜田市の未就学児童の状況について (同)
- ・放課後児童クラブの入会状況について (同)
- ・子育て支援ガイド 平成30年度版 (同)
- ・平成30年度浜田市国民健康保険料率について (市民生活部)
- ・平成29年度ごみ処理量等について (同)
- ・萩・石見空港の利用状況について(報告) (産業経済部)
- ・浜田事業承継サポート窓口の設置について(報告) (同)
- ・平成29年度 はまだ産業振興機構活動実績について(報告) (同)
- ・平成29年度 国際定期コンテナ釜山航路取扱貨物量について(報告) (同)
- ・平成29年度 ふるさと寄附の実績について(報告) (同)
- ・平成29年度 広島市場開拓室及び広島PRセンター活動実績について(報告) (同)
- ・平成29年 浜田市農業産出額について(報告) (同)
- ・企業版ふるさと納税について (同)
- ・漁業別水揚げについて (同)
- ・4号荷捌所の基本設計概要について (同)
- ・沖合底曳網漁業構造改革推進事業の実績報告について (同)
- ・クルーズ客船の浜田港寄港について (同)
- ・第12回自治体国際交流表彰受賞について (同)
- ・外ノ浦の“北前船日本遺産”追加認定について(報告) (同)
- ・旭温泉あさひ荘の重油ボイラの故障に伴う対応について (旭支所)
- ・山ノ内梨園再整備圃場への入植者の決定について (同)
- ・平成30年度学校職員名簿 (教育委員会)
- ・平成30年度園児・児童・生徒数一覧 (同)
- ・平成29年度学力向上総合対策事業実績報告書 (同)
- ・浜田市社会教育アドバイザーの委嘱について (同)
- ・中央図書館における駐車場ゲート開放に関する社会実験について (同)
- ・子供の読書活動優秀実践図書館 文部科学大臣表彰について (同)
- ・浜田市県立高等学校支援連絡協議会の設立について (同)
- ・浜田市立公民館館長・主事名簿 (同)
- ・青少年サポートセンターの利用状況について (同)
- ・「しまね映画塾2018in浜田」スケジュールについて (同)
- ・消防団施設のあり方検討会の設置について (消防本部)
- ・基幹管路の耐震化率について (上下水道部)

## 2 その他

- (1) 腕章の貸与について
- (2) 防災服の配布(注文者のみ)
- (3) その他

【詳細は会議録のとおり】

## 【会議録】

[ 10 時 05分 開議 ]

川神議長 ただいまから全員協議会を始めます。議題に入る前に、本年度に異動のあった部長さんから一言挨拶をいただきます。自席でお願いします。

《 石田都市建設部長より挨拶 》

川神議長 ありがとうございます。なお部長級ではもう1名、河上弥栄支所長が異動で着任されていますが、支所長は既に各調査会に出席して挨拶されていますので、改めてこの場で挨拶はいただきませんのでご了承くださいと思います。

石田都市建設部長、河上弥栄支所長には、これからも引き続き浜田市政の発展にご尽力をお願いします。

では議題に入ります。

### 1. 執行部報告事項

#### (1) 病児・病後児保育事業について

川神議長 この件について、健康福祉部長。  
健康福祉部長 (以下、資料をもとに説明)  
川神議長 議員から質問は。笹田議員。

笹田議員 緊急かつやむを得ない状況として、8月中旬から病後児のみ市が直営でされるとのことですが、せめて夏休みに入る前の7月下旬くらいから開始できないかと考えます。小学3年生までということで夏風邪の可能性もありますので、緊急かつやむを得ない状況と判断している以上は、なるべく早く開催していただきたい思いがあるのですが、それについてはいかがでしょうか。

健康福祉部長 私どもも気持ちは同じで、一刻も早くとは考えています。ただ若干の施設整備等がありますので、出来るだけ早く開設できるよう頑張りたいと思います。

笹田議員 市民の方々望んでいる「病児保育」の説明が無かったのですが、それはどのようにお考えですか。

健康福祉部長 病児と病後児の区別はなかなか難しいですので、かかりつけ医の元で判断をいただくことになるだろうと考えています。理想は病児保育も当然やるべきだと考えています。ただ、病児となるとお医者さんが居ないと、やる側も非常に不安を持たれるので、当面は病後児でスタートしますが、病児の方も出来ればお医者さんと一緒の所でやれる形にしたいと考えています。

川神議長 その他質問ございますか。西田議員。

西田議員 この件は昨年8月の調査会、9月の委員会、12月定例会内の委員会等々で、斎藤先生もここへお見えになって色んなご意見を言われましたが、その時は大変感情的というか相当ご立腹な状況で。それに対して担当部課長や市長が色んな形でお願いに行かれたことと思います。お願いしなすと言うだけでは解決しないのかなと思います。それだけご立腹になら

れていた要因をきちんと解消してあげるような手段を、何か考えられたら良いかなと思います。

健康福祉部長

確かに先生はずっとお怒りでした。お怒りの原因は色々あるのだと思いますが、最初の頃に特に言われていましたが、カメラでも置かれてずっと監視されているようだと、今でもすごく言われますので、監視されているようなお気持ちが一番強かったのかと、私は感じています。お怒りの件については市長も副市長も何度も行っ、お詫びとお願いをさせていただいています。

川神議長

その他ございますか。

( 「なし」という声あり )

川神議長

この件は非常に長い課題ですので、担当に置かれても極力市民が不利益を被らないように進めていただくようお願いしておきます。

## (2) しまねお魚センターの買取申出に対する検討について

川神議長

この件について、産業経済部長。

産業経済部長

( 以下、資料をもとに説明 )

川神議長

質問はございますか。澁谷議員。

澁谷議員

正直言って信じられない計画だと私は思います。水産都市浜田の賑わいづくりが、あのくらいの規模で可能かと。部長の経営センスという時代状況が全然読めてないのではと私は思います。

このセンターが開設した時の三十数年前、浜田市が一番の大型店は、平和街にあるイズミ、当時はニチイでした。その時の売り場面積は3750平米です。それが今、港町のゆめタウンは2万平米です。そのくらい時代状況は大きく変わり、地域1番店戦略がきちんと無ければ、ただ作っただけで終わり賑わいなど創設出来るはずがないのではないかと私は思います。

偶然ですが3日前に焼津市へ、Facebookによる議会情報提供を視察に行きました。折角焼津に行ったということで、途中で焼津お魚センターに寄らせていただきました。そこはテナントが70店舗です。そこも老朽化していて建て直さないといけない。隣には静岡の清水港があって、近代のお魚センターがあるので苦戦しているとのことでしたが。70店舗あって平日に半分ずつ休む、土日は70店舗開く、即ち年中無休です。すると観光客にとってみれば行ったけど休みだという心配が全くないので、旅行会社も計画が作りやすいです。今の時代に十数店舗の店を作っどうなのか、教えてください。山陰ナンバーワンでないことですよ。

それと疑問に思うのは、瀬戸ヶ島に立派な施設を作ると久保田市長が計画を出されましたよね。その時には久保田市長のビジョン、思いがありました。水産浜田の賑わいを提供しようという。ただその時は県の土地が3分の2もあるし、お魚センターや仲買売場と競合させるのかという議論が産業建設委員会の中でも上がって、でたらめな計画だということで今は畜養に変わりました。でも7号・4号市場が高度衛生管理型の最新型に変わって行って、安全安心なお魚を提供する形に向かって、その地域のビジョンがないままに、ただ特産品協会から申し出があっ、それを買い取ってあげるために仲買を移動させるような計画は、特三漁港を持っている浜田の賑わい創出施設になりますか。10年後にきちんとした物を作る計画なんですか、お尋ねします。

産業経済部長

賑わいづくりになっているかについてですが、お魚センターの施設を有効活用すること、それから今の仲買市場が老朽化しているため、まずは仲買さんにあそこに移ってもらうことを大前提に、今回の新たな賑わいづくりを考えています。先ほどご指摘のあったように、賑わいづくりにおいて不十分だというのは一理あるかもしれませんが、限られた施設の有効活用という点において賑わいづくりをしていこうと考えていますので、基本的な考え方がある上での方針・構想だということをご理解いただきたいと思います。

将来的にもこの施設が拡充されるかどうかについても、公共施設再配置等でも色々ご提案させていただいていますように、新たな施設設置は非常に厳しい状況ですが、水産物の売上や水揚げを見ながら将来を考えていく必要があるかと思っています。

澁谷議員

私はこういうのが一番無駄な税金の使い方だと思っています。今年、陸上競技場と野球場の改修に1億4000万円使います。では1億4000万円使ってこの陸上競技場と野球場が今後10年間もつかと言えば、もたないでしょう。ならば最低限の安全ラインだけやって、別途きちんとした陸上競技場と野球場のビジョンを示すべきなんだ。それが税金の有効な使い方だと思う。そのためには国県の応援が要りますが。今回3億円使ってどうするの。中途半端な金の使い方なのはこれが税金だからですよ。貴方のお金で出来ますか、将来的な展望が見えないのに投資出来ますか。税金の使い方にもっと経営ビジョンを……全協で議員に説明するならそれなりの経営計画やビジョンを見せてもらわないと、ふるさと体験村と全く一緒ではないですか。どうですか。

産業経済部長

まずは仲買施設が老朽化していますので、移転先としてお魚センターの施設を有効活用するのが大前提です。でないと今回の在り方検討は無いものだと思っています。それを最優先で検討したいということでご提案をさせていただいています。今後の経営については将来的には新しい荷捌所が出来ることで、今の売上55億前後が60億、70億になっていくことによって魚の取引も増える、引いては仲買での取引も増え、新鮮な魚を求めてお客の方が増えていく、そういう構想の下にお魚センターを新たな拠点として考えていきたいと思っています。

川神議長

その他ございますか。牛尾議員。

牛尾議員

私は産業建設委員ですが、当日は早退して意見を言う場が無かったので、少しここで意見を申し上げてもよろしゅうございますか。

川神議長

はい。

牛尾議員

ありがとうございます。お魚センターについてはこれまで私見を申し上げてきました。仲卸は単独建て替えすべきだ、お魚センターは一定の使命は終わったのではないかと。

ところが最近色々、特に仲卸の若い経営者と話すには「新しい所へ移って30年いけるなら、子供たちの時代が控えているから早く決めて欲しい」と。単独建て替えが出来ないなら、新しい所へ行って一定年数やるのもやむを得ない。ただどうするのか立ち止まっているのが一番困るのだ、市がきちんと方針を決めて欲しい、という意見もありました。マーケットは全員同じ方向を向いているとはまだ思っていませんが、いずれにせよ仲買の単独建て替えには相当なコストがかかるわけです。私の理

想はやはり単独建て替えだと思います。だけど、事前の策であそこが有効利用できるというのなら、1日も早く決断してそちらへ移るべきだと思います。何故なら今、風評被害でお魚センターはもっと酷くなっている、日一日と赤字が膨らんでいくという現状です。勝手に潰れてしまえというわけにはいかないと思うので、どういう救済方法があるか。市が示すように一旦精算してもらって空っぽにして、そこにハサップ対応も入れて絵を描いていく。その総コストがどのくらいになるか、どのくらいの経営負担が出来るか、そういうことで進んだ方が、現状から言えばベストではないかと。いずれにせよ買い取るか買い取らないかを決断しないと、架空の議論をしても時間が勿体ないと思うので。是非先に決断してもらって、同時進行で絵を描いてもらっても結構ですが、30年前に失敗した計画が今日のお魚センターを招いているわけですから、もう一度30年前に戻って、現状マーケットも比較しながら、失敗した事例を持ち込まないようにして新しい命を吹き込むのが、現状ではベストな考え方ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

産業経済部長

まずは決断を早くということについては、仲買とはこれまでも協議を行ってきました。しかし家賃面やその他経費の条件が整わず、継続協議に至っています。早く決めたいということについて、必要な施設だということは皆さんから意見をいただいていますので、早急に話をまとめて、何とか早い段階で方針が出せるよう、市としても努めていきたいと思えます。

川神議長  
道下議員

道下議員。

仲買人さんからは今から調整や了解を取ると言われましたが、極めて難しいと私も考えています。後継者が居ないとか、送りばかりで一般の人は相手にしていないという所もあります。それらの仲買さんたちにも理解してもらえるよう説明して、ひと役買って欲しいと言って欲しいのだけど、作戦を書いておられますか。

産業経済部長

お魚センターに移動していただきたいという市の考えと熱意をもって、話はしてきています。レイアウトの部分についてもある程度までは仮定ですが、ご了解いただいていますし、経費面はまだ了解をいただけません。今後その辺についてもしつかり話をしていきたいと思っています。

道下議員

あそこにいる若い方たちを上手く救っていただいて、年若い後継者もいないんだといった方には上手に助言してもらって、そんな工夫が一番大事だと私は思います。そこをしっかりと自分たちの作戦を描いてしつかりやっていただきたいと思えます。

川神議長  
柳楽議員

その他ございますか。柳楽議員。

もしかしたらこれまでもお話が出たのかもしれませんが、設計事務所が出した改修案、その設計費はどのくらいかかっているのでしょうか。105万8000円です。

産業経済部長  
川神議長  
西川議員

その他ございますか。西川議員。

今回この図面と概算費用を出してもらっていますが、仲買売場さんとの交渉がまだ決まっていないとのことですが、交渉経緯、何が問題点なのか、いつを目途にやっているのか、そういうことをここで報告いただいた方が良かったのではないかと思いますが、その点いかがでしょうか。

産業経済部長

交渉経緯ですが、移るならどういったことが課題なのかからヒアリン

グしながら、昨年12月からこれまで話し合いをしてきています。施設面の条件についてはある程度ご了解いただいておりますが、家賃、海水を吹き込んだり、浄化センターへの排水処理関係の費用が発生します。どれくらいの水量を使うかもまだ未定ですので、その辺が仲買さんにとっては不安だということで、ご了解いただけない状況です。

スケジュールとしては7月中には方針が出せるように努めたいと思っています。

西川議員

図面と費用も大事ですが、交渉経緯もペーパーにして報告いただきたいと思います。

川神議長

またよろしくをお願いします。それ以外にございますか。

( 「なし」という声あり )

産業経済部長

確認ですが、7月を目途に出されるのですね。産業経済部長。

もしやるなら出来るだけ早くというのがありますし、昨年11月に要望を受けてからかなり時間も経過していますので、賛同が得られるか得られないかについては、7月中には結論が出せるよう努めたいと思っています。

川神議長

担当委員会ともきちんと連携を取りながら、進めていってください。ではこの件は終わります。

### (3) ふるさと体験村の運営状況（直営）について

### (4) 浜田市ふるさと体験村施設経営検証委員会の中間報告について

### (5) ふるさと体験村の浴槽からのレジオネラ属菌検出について

川神議長

(3) から (5) まで一括で説明を受けたいと思いますが、説明の前に弥栄自治区長から発言を求められているので、これを許可いたします。

弥栄自治区長

ふるさと体験村では、5月9日に採取した浴場の水質検査において、6ヶ所のうち女性大浴場1ヶ所から、法定基準の6倍のレジオネラ菌を検出いたしました。ただちに使用を中止して原因を調査中です。このことについては、利用者の方はおもとより議員の皆さんにも多大なご迷惑とご心配をお掛けしましたことを、心よりお詫び申し上げます。

それに伴い、3月議会でご報告した内容について、まずは職員体制がスタート時点で揃わなかったことと、検証委員会の検討完了報告を6月議会では少し難しい状況にあることと、来年4月1日からの指定管理に向けた公募が少しずつれ込む可能性が出てきた等、状況が変わってきたことも含めて、今日は現状を報告させていただきたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

川神議長

それでは (3) の報告からお願いします。弥栄支所長。

弥栄支所長

( 以下、資料をもとに説明 )

川神議長

ただいま、ふるさと体験村関連 (3)、(4)、(5) を一括で報告受けました。議員からの質問を受けます。西川議員。

西川議員

今後のことについては検証委員会はまだ途中ということで、経緯や結果を注視していきたいと思っています。当面4月1日からの直営について、3月議会において、議員の中から「一旦休止して体制を立て直してやったらどうか」という意見も出ていました。それについて「雇用の維持」という大義名分のもと、それから地域協議会からの要望があり、原因としては「マネジメントの欠如」がありましたということで、4月からは自治区

長が責任をもってマネジメントをするということで事業を継続した、と覚えています。しかしながらこうしてまた、雇用の体制が結局継続していない。ということはこれについては組織のマネジメントが出来てないのではないかと思いますし、レジオネラ菌についてもリスクマネジメントが出来てないと思います。併せて申しますと、どぶろくも作れなくなった、これも方策があったのではないか、営業マネジメントが出来てないのではないかと思います。マネジメントが出来ていないからこうなっていると思いますが、自治区長は責任をもってマネジメントをされていたのかどうか、お伺いします。

弥栄自治区長

3月にご説明したように人選も進めて、最終的に4月に移行する段階で、施設長候補の方は「方向性が合わない」ということで断念しましたが、確かにご指摘のように、マネジメントということでいくと、今回のレジオネラ菌もそうですが、思ったようなことが全く出来なかった、運営再開するのに手一杯だったという側面もあり、非常に危機管理面が甘かったと改めて反省しています。しかしながら、やっと6月から施設長も入っていただくことになり、丁度予定していたフルメンバーが揃います。以前の職員は料理長1人しか残っていません。あとの方からは「やはりもう辞めたい」という申し出があって、そのことも計算が狂った原因になったんですが、これからについては本来あるべき姿、今まで描いていたことが実行出来るのではと考えています。

西川議員

今後のことはやってもらったら良いと思いますが、4月から昨日までに当たってマネジメントが出来なかったのは、今お話になったような、色々やることがあって出来なかったということでもいいですか。

弥栄自治区長

これも大変言い訳になるのですが、施設の清掃等々、今まで積み積もった物を少しは綺麗にしようということで、そちらに手が取られた。ヤマメも何とか再開出来るように、施設整備等々に多くの時間を割いたのが現実で、これは言い訳にしかありませんのでマネジメントは関係ないのですが、やはりそういった甘さが私にあったのは事実です。

西川議員

1点だけお伺いします。3月議会の説明では、委託職員でパート数名ということでしたが、6月1日からパート17名となっています。数名と17名とではだいぶ違いますが、この点についてはどうなのでしょう。

弥栄支所長

運営する中で、宿泊施設の清掃や準備をしていただく方を地元民の方にお願ひしていて、こちらがお願ひする日に来てくれない人もおられますので、ある程度人数を多くお願ひさせてもらっているということで、17名が同時に絶えず動くのではなく、作業内容によって結果的に17名の方にお願ひしているということです。確かに数名から17名に増えていますが、総人件費がそれで増えるのではなく、そういう形で運営しています。

川神議長

それ以外いかがですか。澁谷議員。

澁谷議員

まず1点目はレジオネラ菌の問題です。この2ヶ月の間に2回新聞報道されています。1つが隠蔽の件。事務局が1年間きちんと発表しなかったことと、今回の5月16日の実際の検出の報告がされて、それから、2週間経って今日初めて詳しい説明を全議員にされました。このようなことは素早く全議員に、紙きれではなくきちんとした説明をすべきではなかったかと私は思います。これまでも白タク行為もあったし、労働基準局の査察があった、それも大きな法令違反だと思いますけど、レジオネラ菌が



基準値以上に出るということで、肺に入ったり身体が弱っている場合はそれが原因で亡くなる方がおられますよね。要するに行政が運営するものにおいてレベルが違うと思います。だから以前、あさひ荘の時には徹底的に体を張ってレジオネラ菌対策が練られた。あの時の旭支所長は逃げなかったですよ。議会での追及が何回も何回もあっても。絶えず異常数値があれば真っ先に説明する。

弥栄は今、隠蔽体質ということですよ。一番問題だと思うのは、弥栄支所長をされて自治区長をされた方が事務局長もされておりましたよね。そして弥栄支所OBが理事長もされておりました。要するにごちゃごちゃのままきちんとした運営になっていない。自治区長の理事長の検証もされておられませんよね、一番現場をよく知っていただろうと思われる方の検証も1回もないまま、検証委員会で検証してどうなるのかな。それが全く分かりません。レジオネラ菌の説明が2週間、全議員にきちんと説明されなかった理由と、何故自治区長並びに理事長に対しての検証が今日まできちんとおこなわれていないのか、お尋ねします。

弥栄支所長

レジオネラ菌の報告についてですが、確かに言われるように詳細について全議員さんに話していませんでした、申し訳ありませんでした。ただ、報告を受けた当日には市長も含め議長団に連絡したり資料の配付等、いわゆる第一報についてはさせてはもらってました。その後の詳細についてはしていませんでしたので、今後検討させていただきます。全議員さんを招集するのは難しいと思いますので、資料提供という形になるのか、あるいは招集だと言われれば事務局と相談させていただければと思っています。

レジオネラ菌についてはお客さんの命に関わるがありますので、厳密な運用をしていきたいと思っています。また、隠蔽ということも言われましたが、確かに4月になって昨年6月のことがまた報道されましたが、公社の時のことでもあります。公社のメンバーについては市の要職だった者がいっていたこともあり、その辺は確かに反省すべき点だと思っています。今回の件も含め、私どもでは事実が発生した段階ですぐ上司への報告、本庁・議会への報告を心掛けていますので、今後についてはこういったことは無いとご理解いただきたいと思っています。

2番目の検証委員会での検証ですが、これは確かに指摘をいただけていますが、現在先日の部会の方で色々検証することが本当にそれで良かったのか、当時の理事長なり可能であれば事務局さんも含めて、聞いてみないと分からないだろうという話になっていて、会長さんを含めた事情聴取の日程調整に入らせていただけています。部会の中でも全議員では日程が難しいので、正副会長、部会長の4名くらいでどうかという意見をいただけています。そういったことも含め調整中です。議員が言われるように、検証する上で当時の在籍職員に聞くことは重要だと思っていますので、それについて対応を予定しているということでご理解ください。

澁谷議員

3月と状況がかなり違っているのではと思います。地元の皆さん一致団結して、体験村の存続を議長に陳情されました。その時は弥栄の皆さんは一枚岩で体験村の存続を望んでおられるのだと思った所、議会報告会で意見を聞くと、直営は間違いだとか、人によっては陳情さえ間違っていたと思ったとか、それを今頃言われても困るというような意見が出て

くる。私はゴールデンウィークに1回しか体験村を訪問しませんでした。あそこまで地元の方が言われるなら、当然テントでも張って産直市でもやって盛り上げておられるのか、神楽でもやっているのかと思えば、まるっきり何も無かったですよね。地域の皆さんも言葉では言われるけど、では実際どのように体験村を盛り上げていくのか。連携についてはどうなっているのか、という点が1つ。

自治区長は「自分はマネジメントが得意だ」と産業建設委員会で大見えを切った以上、僕はあの言葉を忘れませんよ。どこが得意なんだよりリスク管理も出来ずに、と思いますよね当然。自治区長は泊まり込みでもして危機管理しているかと言えばそうでもないし。思いと実際の行動がバラバラではないかと思えます。

もう1点、もう6月1日ですよ。それなら少なくとも4月末時点の月次決算がここに出てきて当然ですよ、経営ということを考えたら。私は5月末の損益計算書を出せとは言いませんよ、少なくとも4月はどういうお金の動きで、どのくらいの赤字になっているのか、補助金で足りているのか、今後どうなのかということは、全議員に資料を提出すべきでしょう。それを無いままに説明会を開く。だから経営なんか全然分かってないんだあんたらは。議会軽視も甚だしいと思いますが、その3点お伺いします。

弥栄自治区長

確かにご指摘のとおり、地元住民さんのべ255人の方から意見をお聞きしていますが、色んな要望・提案・ご批判をお伺いしています。責任を持って自分がどうするこうするという話はなかなか出てこない。そうなったのが結果として経営が行き詰ったことになるんだと思えますが、地元にとって大切な施設、浜田市にとって大切な施設という言葉だけではなく、地域一体となって出来るかどうか、今回の直営の期間に再度考え方を変えていかないといけない。私の今までの努力が足らなかったことも含めて前向きにやっていきたいという思いをお伝えしたかったのですが、不適切な言動をしてしまった、「得意だ」と言ったのはおかしいと思います。地域の意識醸成、一緒に協力してもらえる体制を取るのが今回一番重要なことだと考えています。

2番目の経営意識はどうか、確かにそのとおりなので、数字をしつかり掴んでご報告していかないといけないと思っています。今しばらく時間を頂戴したいと思います。

弥栄支所長

決算の状況については少しお時間をいただいて、資料を印刷して後程配らせてもらおうと思います。本来提出すべきでした。申し訳ありませんでした。

川神議長

それ以外にありますか。川上議員。

川上議員

先般の調査会でかなり聞きましたが。先月調査会が28日で、それ以降、部会が開かれたとのこと。あれから3日経っていますし、第2回の報告くらいはしていただきたいですが、いかがでしょうか。

弥栄支所長

確かに。今日資料を用意しておらず申し訳なかったんですが、それぞれの部会では公社の事務局長なり理事長を呼ぶことについての意見交換を少しさせてもらっています。併せてそれぞれ第1回目の所での宿題をいただいていた、経営状況の資料や色んな物を出しています。まず組織ですが、3月の議会には市長にも議長にも地域協議会の方から、1日も空け

ずに直営でということで、地域を挙げてという要望が出ています。それ以降、議会報告会では少し後ろ向きとも取れる発言もあったことから、24日に第2回目の地域協議会を開いています。地域協議会のメンバーも約半数ほど入れ替わっているので、再度この件について地域の思いはどうかということも聞いています。その辺についての意見交換をしています。併せて産業建設調査会での厳しいご意見があったことの状況報告、関係者の招集についてと、組織体制の検証ということで詳細な資料で、特に監査の指摘があって対応出来たもの、出来てないものという資料も出して検証いただいています。経営の方ですが、ここでも同じく地域協議会での新しい委員さんの状況、産業建設調査会での状況、関係者の招集と、各部門への収支状況について分かる範囲での資料提供をさせていただいています。併せて土地建物の評価ということで、現在の資産価値についての資料を出させてもらっています。地域協議会の意見ということで資料を出しているわけですが、5月24日に急遽招集を掛けさせてもらっています。メンバーが変わったこともあります。存続についてはほとんどの方が要望をされています。ただ、4月以降の、昨年6月のレジオネラ菌の隠蔽、5月のレジオネラ菌が出たこともあり、少し休んで体制を整える所から始めた方が良かったのではないかという意見が出ているのも確かです。また「こういったことをしたらどうか」という提案も多くありました。批判も3分の1くらいある。組織と運営についても色々ご意見をいただいています。存続については基本的には変わっていない状況ですが、1日も間を空けずに直営ということについては、少し色々な問題が起きたことも含めて、立ち止まった方が良かったのではないかという意見が出ているのは確かです。

川上議員

検証委員会は3月31日までのことについて検証していただいて、先般、提言されるということを知っていますので、それ以降のことについてとやかく言うことはありません。3月31日までのことを検討していただいて、早く提示していただきたいです。第何回目の検証委員会くらいで提示されるのか、その辺が知りたいです。既に今日からまた新しく運営始まっています。提言が無い上で運営していますので、また何か問題が起きるのではと不安です。早く提言が出来る形にしていただきたい。ですので29日の委員会でどのようなことになったかを見せていただければと思うのですが。お間違いにならないように、検証委員会は3月31日までのことだけを絶対忘れないでください。新しいことを付け加えてやる必要ありませんので。よろしいでしょうか。

弥栄支所長

確かに言われるように、過去についてしっかり検証ですが、今後の運営・経営をやる中でレジオネラ菌が出たことによってお風呂の営業を停止していますので、その辺は少し考慮がいるのかな、経営面でどういう影響が出るかというのはあると思います。6月14日が第3回目ですが、そこで出た分については最終的な報告が無いにしても中間報告はさせていただこうと思っています。6月議会中に最終報告を目指していただいています。3回目の様子によって、あと1回なのかは判断させていただければと思っています。各部会長、会長さんも含めて出来るだけ早くしたいという意向は持っておられますので、私どもも資料をしっかりと提供していきたいと思っています。

川神議長  
牛尾議員

その他。牛尾議員。

所管委員会で報告があった以外の、検証委員会等々傍聴していて何点か問題があると思った点について、確認をしたいと思います。

第1回目は参加出来ませんでした。第2回目が5月18日にありました。その席の質疑応答の中で、3月末で解雇通告が来て路頭に迷うということで、僕らも地域協議会の要望はあったけど今いる職員が路頭に迷うようなことがあってはいけない、直営にせざるを得ないということで予算を承認しました。5月18日の質疑応答の中で、1人も再雇用していないという報告があって、実は愕然としました。我々としては、今いる職員を何とか守らないといけないという点に相当重きがあって、あの予算を承認したと自分でも自負しているんです。その一番の重たいものが吹っ飛んでしまった。その報告が、たまたま僕は5月18日の検証委員会を傍聴していたから分かった。

今度は29日に検証部会の組織部会に出ました。先ほど川上議員が言われたのがその資料ですが、地域協議会の方13名中9名の方が「こんなことならやはり閉めておけば良かった」と。今のようなレストランのメニューでやるべきではないとか。一旦休止して将来のために考えることは必要なのではないかという結果なんです。傍聴者は僕だけで、途中で退席してくれと言われて、やむを得ず退席しましたが、13人中9人がそういったコメントをしているにも拘らず、担当課長の説明は「一部そういう意見があったけど」という、事実と違うような言い回しをして会議を違う方向に持っていくと受け止められるような進行をするわけです。それを聞いていて、3月議会にあれだけガタガタやったのは何だったのかと。元々私は弥栄の体験村応援団を自負していますので、非常に残念に思いました。地域活動が出来なかったのは、地元出身ではない事務局長が一旦座っていたこともあったりして、そのためにネットワークが繋がらなかったと、いかにも犯人を地元の間人でない者に押し付けるような言い回しもあるわけです。話を戻すと、検証委員会の林先生に、こんな資料で検証出来ますかと問うたら、資料が少ないから大変だとおっしゃっていました。その都度、私は支所長に言いました。3月議会でこれだけゴチャゴチャやっているんだからその時の議事録を出して、議会はここまでやっています、その上で議論してもらえば良いじゃないかと。それからこの間の組織検証部会でも一定の意見を申し上げました。やはりあまりにも資料が少なすぎて、検証委員の方がお気の毒です、これで何を検証しろと言うのか。私の視点ですが思いました。その辺について総括してもらえませんか。

弥栄支所長

牛尾議員には傍聴いただいてありがとうございます。その中で私も耳打ち等していただきながら発言させてもらったりしています。特にありましたのが、3月に賛否両論ある中で予算承認したことについては、地域要望も含めてですが公社の職員が首切りになった状態にある中で、何とか雇用の継続をしたい、目途も立ったようなことを言っていましたので、その辺も含めて承認していただいた。この継続については非常に重かったものと認識しています。ただ結果的に、来てくれないかとお誘いはしたが断られたという状況だと聞いています。そのために4月以降の運営が非常に混乱したということもあります。確かにその辺は反省すべき点で

あるとしか言いようがないと思っています。

検証部会へのご意見もいただきました。確かに資料が少ないということで、色んな計上資料も公社から借りてきて、加工したり打ち直したりするわけですが、その辺が元々上手く出来ていないこともあって、なかなか検証委員さんから要望される資料が出ていないということもあります。議事録についても、議員さんから提案をいただいたので、出すように。3月中の全協までアップされたと聞いていますので、その辺を送ろうと思っています。検証委員会自体に判断する資料が少ないではないかということなので、それについては少し反省させていただきながら、今色んな、それぞれの部会で資料を要望されていますので、出来る限り早く出させていただいて、委員の皆さんが検証するのに支障が無いようにしたいと思っています。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

牛尾議員

再雇用については結果論で、努力したけどやむを得なかったということだと思うので、それは仕方ないかなと思います。ただ、その情報の開示が遅すぎます。僕等はあの事を一番気にして予算を承認したのに、傍聴していなければ分からなかったと。結果的に産業建設委員会に説明があったのは5月28日ですから、3月末以降の話から2ヶ月経っています。何故出来なかったのか。最初から職員が一方的に解雇通告を受けて路頭に迷う、どうしたら良いのかという情報もある中で、では何故再雇用が出来なかったのか、どういう事情があったのか。3月議会の我々の議論からすれば、「これこれの理由で断られました」とか、そういう報告くらいは。区長が直々に面談して再雇用するという話もオフレコでされていたので、それについて披れきをしないと。「1人も採用出来なかった」等とそんなに簡単な言葉で済むような問題ではないと思います。河上支所長も4月1日から行かれて矢面に立っているのです、こういう質問をするのも気の毒だと思うけど、行政はエンドレスですから。議員が一番問題にした点について説明責任を果たしてもらわないと、次のステップへ行けないと思います。今日から新しいマネージャーが入る、どうなるのかと思っていますし。

先日の検証委員会を聞いていてびっくりしたのは温泉施設のことです。聞いた通りを言いますが、当時弥栄村はあんな施設を町民が望んでいたわけでもないのに、いつの間にかあの温泉施設は出来たと。出来た時に丁度、松江の市の観光課長さんか松江観光協会の課長さんか正確に覚えていませんが、来てもらって講演してもらった。講演の中で、何故こんなキャパの温泉を作ったんですか。弥栄にこんなキャパが必要なんですかと言われていたけど、既にその時には出来ていた。我々が望んでいたものではないんだと、今の地域協議会の会長が言われて、その話もびっくりして。今の体験村にとってあの温泉施設はお荷物だったのかなと思ったわけです。それが原因不明で何度もレジオネラ菌が出て、延々と同じことを繰り返している。もう少し考え方を変えないといけないのではないかと。新しい体験村を考えるにあたり、必要で残すべき施設、必要でない施設、検証委員会でもしっかりその辺の資料を出してやってもらわないと。執行部の言いなりの答申が出るような検証委員会では、議会として認めにくいと思います。それについてどう思われますか。

弥栄支所長

運営状況の変更についての報告が遅れたことは大変申し訳ありません

でした。途中の段階で議長なり所管委員会へは、状況を概略では説明させてもらっていましたが、所管委員の方を含めはしていませんでしたので、申し訳ありませんでした。これについては今後しっかり情報提供いただこうと思っています。地域住民からの声もあります。言葉は悪いですが「あれは役場が勝手に作ったんだ」という言い方をされる方も確かにあります。では要らないのかというと「要るよ」ということもあって、なかなか地域住民の代表の方は代表としての立場の発言になると難しいのかなと感じています。利用者についてもレジオネラ菌が5月に出た時に記者発表する中で、利用者の累計数を言った時に「1日の客数ですか」と記者の方が言われたように、1日数人という状況です。週末に団体客があれば10、20ということですので、経費面も含めてどうかと言われると、収益が出る施設ではないというのが明らかだと思っています。最初のコンセプトからずれていることもあるので、検証委員の中でもこの施設を全て残すのか、経営上成り立つだけにするのかは、当然検証していただくべきと思っています。また答申もこちらからの誘導ではなく、検証委員さんからのご意見を反映する。極端な言い方をして「要らない」という意見が出れば、それはそれとして受けるという認識ではあります。あくまで部会で出された答申は真摯に受けようと考えています。

川神議長  
西田議員

その他。西田議員。

資料の中の「入り込み客数」が年間二万数千人で出ていますが、その入り込み客数の市内・市外というのは、はっきり数字を掴んでおられますか。

弥栄支所長

すみません、その辺は調べていないと聞いています。お風呂についても男女分けもないということですので、そういった意味でも検討いただくための資料提供が厳しいのが現状です。

川神議長  
佐々木議員

その他ございますか。佐々木議員。

検証委員会や地域協議会に傍聴に出ておられた議員さんからの質疑もあって、より深い質疑だったと思います。私も2回目の検証委員会と、この場では検証委員さんの方から、我々が3月議会で議論してきて色々あるけれども、やむなしとして賛成した大きな要因は、地域の要望だったと思います。私もそうでした。ですから要望書の中の「このような事態に至ったことを地域は一体となって反省し、一から出直しの機会とします」という文面を、検証委員会の方が捉えられて、しかもこの要望書というのは1回目の検証委員会には出ていなくて、2回目から出てきた。こんな重要なものを何故2回目に出してきたのかという指摘も、検証委員さんから複数ありました。そのことがあってから、これは何かあったんですかという質問が検証委員さんから、執行部なり地域協議会なりにありましたが、そこでは答えがありませんでした。地域協議会の代表の方も、本当に住民の方がどう思っておられるか、当時の要望書では協議会の方々の印鑑がついて出ていましたが、再度地域協議会を開いて聞いてみますということで先日、24日に地域協議会があり、そこへ私も聞きにいきました。存続について一旦停止をしてしっかり検証して、ということが大まかな意見だったと思っています。要はこういった地域の声を改めて聞かなくてはならない、検証委員会の検証の中身としなくてはならない、こういうことになった経緯について、区長さんが地域を回って声を

聞いておられたので、どんな感覚を持っておられるか、もう少し掘り下げたご意見・ご感想をお願いします。

弥栄自治区長

住民の皆さん、地域協議会の会長さんも含めてですが、ざっくばらんに本音がどんどん出てきたんだなど。存続については皆さん共通認識を持っておられますが、今までの運営の姿勢が、住民の声を反映する形で変更できていなかった。30周年を迎えて住民さんとの間に気持ちの乖離が生まれた。その中で、もう1回職員教育も含めて体制を立て直して、これならやれるという状態で実行したらどうか、教育はどうなっているのか、何がどう変わったのかという指摘をかなり多く受けているのも事実です。今回は私の捉え方としては、住民の皆さんの本音が正面から聞くことが出来て、やはりこれは姿勢を正さねばならない時期に来たのだと。それを前向きに捉えて職員一同心を改めて、何のためにこの施設が存在しているのかもう1回、新体制のもと、そこから始めていきたいと考えています。皆さん誰一人間違った意見を言うておられるとは思いませんが、聞く方からすれば本当に耳が痛い話ばかりです。応援というよりは「正せ」という方が多いので、そのことを真摯に受け止めて今から実行していきたいと考えています。

佐々木議員

この場ではこれ以上中身については置きますが、いずれにせよもっとしっかりやってくれというのが大方な声だと思います。我々会派で2年前に、高知の床鍋地域、住民は弥栄より少し少ないですが山に囲まれた地域の取り組みを視察したことがあります。ここは唯一の学校が廃校となり、校舎の跡利用についてを見てきました。廃校を使った宿泊施設、飲食、地域の方はコンビニと言われていましたが物販販売出来る所、それから風呂もありました。問題はこの施設を守る地域の方々の思い入れがすごくて、元々その施設を改修した時に各世帯が均等に負担をされました。恐らく十万円くらいだと思います。なおかつその施設を維持するために各世帯、収入によって多少違うかもしれませんが、年間これだけは各世帯で利用をお願いしますということで、地域住民の方が進んで利用しておられて、これがまさに地域で施設を支える取り組みだと思いました。ここまでやってくれとは言いませんが、住民の方にそういった意識を持ってもらえるような要望書の中身そのまま、住民の方々の中身になるように、是非しっかりしていただいて取り組んでもらいたいと思います。

弥栄支所長

ありがたい提案を受けて、少し調べさせていただこうと思っています。弥栄でも3月の最終週に吉田村から、地域での株式会社化されている所をお招きして講演会をしています。自治会長さんに来ていただき、例えば1件あたり5万円でも出資したりというお話があって、そういった会議も開催しています。私も内示を貰ってましたので少し勉強させてもらったのですが、反応としては少し弱かったように認識しています。もう少し「では我々も」という盛り上がりを期待したのですが。今は区長が回って地域の株式会社化も提案されているようですが、なかなかすぐにといいことにはなっていません。高知の件は情報を集めて勉強させていただきます。ありがとうございました。

川神議長

その他ありますか。西村議員。

西村議員

まず確認しておきたいのが、結果的に公社職員で継続雇用になったの

は料理長だけですか。それ以外は全員お辞めになったのか。その人数も併せて確認したいです。

2点目は、公社の白タク行為、でたらめな労務管理、これについて報告を受けたような状況であれば、いわゆる市の職員がそのことを少しは見聞していたのではないかと思うのです。それが突如、新聞紙上で明らかになるようなことが果たしてあり得るのか。それを支所長に求めても、先にお代わりになったばかりで答えが難しいとは思いますが。そこがこの問題を考えるうえで非常に重要なポイントではないかと私は感じているので、どなたでも結構なのでお答えいただきたいと思います。

弥栄支所長

公社職員の雇用の継続についてですが、当時居た職員で残っているのは料理長ですが、これはうちの直接雇用ではなく食堂を委託している会社で雇用してもらって、結果的には職員ということ。その他の管理部門も含めては、今はゼロです。料理長のみ1名が委託会社に雇用してもらっているという状況です。

弥栄自治区長

ご指摘のとおり白タク行為についても、いつから始まったのか特定は出来ていません。記録が残っていないということで、請求書がある限りは確認できましたが、それ以前から多分、自分勝手な判断で宴会等々伴わない部分については、料金を貰ったら良いのではないかという安易な発想で、そのことをお客さんにお話して了解を貰ってやっていたということなので。いつから始まったかは曖昧です。

賃金不払いについても、お客さんが来られなくても営業時間だけは待機しておかないといけないということで、職員内でローテーションがしっかり出来ず1人の職員に負荷がかかる状況が、これもいつの時点からかは定かではないですが、休みを取らずに出てくる職員が発生してしまったと確認しています。

西村議員

1点目は3月31日まで公社で働いていた職員が、こういう体制で何名居たのだということをお答えいただきたいです。

2点目は、それは分かります。そのことが事実としてあって、日常的に行われていたわけですから、請求書にも記載があったと書いてあるわけですから、当然のこととして日常的に行われていたわけですから、何かの日常会話の中で交わされて職員の耳や目に入るとか、恐らく私はあったのではないかと、あったと考えるのが普通ではないかと思うのですが、実態としては新聞紙上で報道されて初めて分かるといったことが、私としては不思議でならないので。これは希望ですが、その辺りはそれこそ検証委員会で検証していただきたい、重要な項目だと思いますので、検証を是非お願いしたいと思います。私は昨年度の予算決算委員会の決算部分で、今回も問題になっている平成20年度に出た改善計画についての検証がなされていないことについても指摘しましたし、特に人の問題、事務局長等の不在期間があることについて、結局補充が出来ない結果に終わっていなながらも、そのことについて単年度の報告書の中にそういった記載がなされていない問題。今回も指摘がありますが。公社の問題も非常に大きいと思いますが、私はそういうことを指摘されながら、市自体が主体的にそこに切り込んで、悪い点を改善していく姿勢が根本的に欠けているのではないかと私は思っています。検証委員会では何を検証されるのか疑問に思っていて、それをお聞きしたい。是非強調しておき



たいのは、指定管理に寄せる市の姿勢、体制、考え方、これについては是非検証していただきたいという要望を申し上げておきます。もし何かあれば答弁をいただきたい。

弥栄支所長

先ほどの職員ですが、3月末現在が、事務部門が3名、食堂が3名、計6名が在籍していました。後半のご指摘については、確かに指定管理についても、モニタリング制度で毎年報告する中でその辺が無かったということがありますので、市の姿勢についても反省すべき点があるかと思えますし、検証委員会の中でもその辺については会長さんへ提案させていただこうと思っています。

川神議長

それ以外いかがですか。弥栄支所長。

弥栄支所長

今お配りしているのは、平成30年5月19日現在の営業状況です。少しご覧いただければと思います。

川神議長

それ以外この件に関して、皆さん方からご質問ありますか。

( 「なし」という声あり )

川神議長

多くの議員から出ていますが、こういった資料配布や調査会の時もありましたが資料が未添付であったとか、そのようなことはやはり危機管理の欠如から起こってくるのだと思いますので、きちんと議会に対してそうした姿勢で臨んでいただければ更に良い議論が出来ると思いますので、よろしくをお願いします。

( 「経費が全然入っていない。売り上げだけだから意味がない。最低でも損益計算書でないと。貸借対照表とは言わないけど」という声あり )

川神議長

これ以上の資料がありますか、弥栄支所長。

弥栄支所長

今は手持ちにありませんし、まだそこまで詰めてないので。出すとすれば少しお時間をいただくことになると思います。

川神議長

では、より具体的な判断が出来るようなものをご提出ください。

弥栄支所長

後日ということをお願いします。

川神議長

よろしいですか。

( 「はい」という声あり )

では出来るだけ早く準備いただきたいと思います。

12時を過ぎていますが、続けて残りの議題を取り扱っていきたいと思いますので、ご協力をよろしくをお願いします。

## (6) 防災行政無線放送の不手際について

川神議長

この件について、消防長。

消防長

( 以下、資料をもとに説明 )

通信指令課長

( 以下、資料をもとに説明 )

川神議長

この件について、ご質問がありますか。

( 「なし」という声あり )

川神議長

ではこの件を終わります。

(7) その他

・(仮称)新浜田ウインドファーム発電計画について

川神議長  
市民生活部長  
川神議長  
川上議員  
市民生活部長

その他ですが、風力発電の件について市民生活部長。  
(以下、資料をもとに説明)  
ただいまの報告に対して質問がございますか。川上議員。  
この計画が分かったのはいつですか。  
事業者から計画を変更すると聞いたのがひと月前です。その時はまだ計画が固まってないので、公表はしないでくれということでした。

川神議長  
澁谷議員

その他ございませんか。澁谷議員。  
3日の防災訓練の案内が各議員に来ているんですが、先週の総務調査会で課長から「今年は全体ではなく個別に各自治区で対応し、議員は来たければ来ればいい」というような案内でしたが、今後もそういう個別な形でされるのかということと、もう少し早い時期に今年の計画について説明をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

川神議長  
総務部長

その他の項目ですね、はい。総務部長。  
今度6月3日(日)に予定している総合防災訓練、議員の皆さまにご連絡が遅くなり申し訳ございませんでした。昨年防災訓練をやった後に色々やり方の検討等もさせていただいて、どちらかと言うとデモンストレーションを見学して、色んな関係機関が活動されるのを見るよりも、実践に近いやり方が良いのではないかとということで、他の被災されたところの防災訓練等も見させていただき、昨年7月4、5日の雨の時の本部体制を改めて検証しながら、実際に向けた伝達訓練を中心にやろうということで資料をお配りしていますように、市なり関係団体が一緒に集まってやることになっています。

一方では地域の方が、やはり見学よりも各地域で実際に避難訓練等やっていただきたいということで、自主防災組織を中心にやっていただくということで、議員の皆さまは災害の時は地域の情報を市に寄せていただいたり等ご協力いただいていますので、今回は本部の様子を見学いただいても結構ですし、各防災訓練を見て色々ご意見をいただくことも重要ではないかとということで、今回ご案内させていただきました。

確かに大きな変更をしたので内部での引継ぎが十分早く出来ず、ご連絡が遅くなったのは改めてお詫びしたいと思います。今後については、今回のこの訓練を県の防災機関にも来ていただいて、検証していただいてご意見等もいただきながら、有効だということならこれを継続する、違う方法が良ければやりたいということで、今後については今回の防災訓練が終わった後にまた検証してお伝えさせていただきます。

川神議長

その他ございますか。  
(「なし」という声あり)

私から、全国議長会に関して若干皆さん方にご報告させていただきます。先ほど西田議員には行政委員会で感謝状をお渡しします、ご苦労様でした。新年度、浜田市は全国議長会の中で理事となります。全国800超の市で51自治体が理事となりますが、順番で我々浜田市が理事として議長が出ていくこととなります。その際、質問が出た事項で大きく2点あり、議員の厚生年金と社会保険について、是非加入をしていこうという新し

い流れが出ています。以前も浜田市の中で意見書を出すか出さないかの時に、多分出してないという確認をしています。これは急に議員年金が廃止になって、更にまたこういったことで新制度の中に入りましょうというのが信用できないということもあり、意見書は出すのを止めていますが、全国の流れの中で約4割弱の自治体が意見書あるいは要望書を出して、全国議長会とすると是非制度に入り込むことが出来るように、という流れにはなっています。決定ではありませんが、国の方で一昨日、地元国会議員との懇談会の中でそういったことを是非国会で議論していくというお話でした。その時に1つ問題なのは、社会保険となりますと正規職員の4分の3の時間を働かないと保険対応にならない、その辺がどうなのか、雇い主は誰なのかというような、制度の解釈が要るということがあって今そこで置いてあります。それともう1点、市議会旬報が皆さんのお手元にあると思いますが、これに関してはアンケートがあり、うちは「不要」と返事しましたので、市議会旬報は皆さんのお手元には来ないこととなります。これは全国でアンケートを取られて、かなりの自治体が「不要」と。実はホームページの中で同じものが常に見られるので、まだ必要な自治体は紙ベースで送ることにしていますが、浜田市は紙ベースは必要ないということですので、あれはいつくるのかということとは決して聞かず、ホームページでご確認いただきたいと思います。よろしくお願いします。

それともう1点、先般松阪市へ訪問したことは報告しましたが、前回の浜っ子まつりでは、副市長並びに山本議長が初めて浜田に来られて、色々と今後の議会間交流の意義について、またお話させていただきました。来年開府400年ということで、松阪市としても大きな縁を感じながら議会でも話をしていきたい、ということ年全国議長会でもお会いして確認していますので、皆さん方にご報告申し上げておきます。

事務局から報告をお願いします。

小川局長

事務連絡を何点かしておきます。6月に入りました。6月定例会が始まります。締め切り関係の日程確認を再度していただきたいと思います。

一般質問の締め切りは、6月12日11時です。お間違いないようお願いいたします。一般質問の締め切りについては、2月の議運で申し合わせ事項を変更しました。FAX、メールで送られる場合は前日11時までならそれで受け付けるという形に決定して、変更しています。FAX、メールで受付して欲しい方は、前日11日の11時までに送ってもらうということで、確認をお願いします。

一般質問で使うパネル及び6月議会で審査を依頼される陳情・請願等がありましたら、この締切が6月14日になっていますので忘れないようにしていただきたいと思います。6月議会については以上です。

先の話になりますが、県市議会議長会の議員研修ですが、毎年講演会をやってもらっていますが、今年は7月30日(月)に、出雲市内で開催の予定ですので、皆さん出席を予定しておいていただきたいと思います。

もう1点、防災服を購入していただいた方には今日、防災服を机の上に置きましたのでご確認いただいたと思いますが、その代金については、6月15日の報酬分から引き去りをさせていただこうと思いますので、ご理解をよろしくお願いします。防災服配りましたが、直しも何もしてあり

ません。家で直してもらっても良いですが、購入先のカタイさんに持って行ってもらうと、1回だけは無料で直しをしてくれるそうなので、もし直しが必要な方はカタイさんへ直接行っていただければと思います。

もう1点、黄色の腕章も一緒にお配りしました。これについては事務局の経費で作成させてもらいましたので、貸与という形にしたいと思います。全ての腕章に議員番号全部入っていますので、議員任期満了時には返してもらって、次の方に使ってもらう形にしたいと思いますので、これについてもよろしくお願ひします。

最後に、今日の自治区と議会改革特別委員会ですが、自治区制度については1時半からこの部屋で、議会改革特別委員会については第4委員会室で同じく1時半から、ということで委員長さん方と話をしましたので、同時開催の形になりますがよろしくお願ひします。

長時間ありがとうございます。以上をもちまして全員協議会を終了いたします。

川神議長

[ 12 時 23 分 閉議 ]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 川 神 裕 司